

## 平成29年度 第13回石巻地区中学校総合体育大会（サッカー競技）実施要項(抜粋)

- 1 目 的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツの精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成するとともに、石巻地区の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主 催 石巻地区中学校体育連盟
- 3 共 催 石巻市教育委員会 女川町教育委員会 東松島市教育委員会
- 4 後 援 石巻地区中学校長会 石巻地域体育協会連絡協議会  
県高等学校体育連盟石巻支部 石巻日日新聞 三陸河北新報社
- 5 期 日 1日目 平成29年6月10日（土）予選リーグ（10試合）、開会式  
2日目 平成29年5月11日（日）決勝トーナメント（6試合）、閉会式  
予備日 平成29年6月13日（火）  
平成29年6月14日（水）
- 6 会 場 石巻市総合運動公園 フットボール場・ふれあいグラウンド
- 7 大会役員
- |      |               |      |              |
|------|---------------|------|--------------|
| 部会長  | 加藤 高政（矢本二中校長） | 競技役員 | 山崎 武洋（山下中）   |
| 副部会長 | 平塚真一郎（青葉中教頭）  |      | 和泉 浩（青葉中）    |
| 副部会長 | 梶原 昭彦（蛇田中教頭）  |      | 熊谷 雄也（青葉中）   |
| 委員長  | 安倍 優治（門脇中）    |      | 淀川 剛（渡波中）    |
| 副委員長 | 谷口 正樹（矢本一中）   |      | 狩野 晃（住吉中）    |
| 副委員長 | 新妻 景也（蛇田中）    |      | 相澤 幸恵（蛇田中）   |
| 審判長  | 岩淵 謙（女川中）     |      | 阿部 駿（矢本二中）   |
| 会計   | 沓澤 遥（矢本二中）    |      | 笹ヶ瀬真樹（河南東中）  |
| 記録   | 高橋 哲哉（矢本一中）   |      | 竹内 栄喜（河南東中）  |
| 救護   | 増 佑里（住吉中）     |      | 山崎 健太（鳴瀬未来中） |
| 救護   | 男澤 淳子（門脇中）    |      | 黒須 慎矢（鳴瀬未来中） |
| 救護   | 阿部 真紀（蛇田中）    |      | 亀山 貴俊（女川中）   |
- 8 審判員 石巻サッカー協会審判部・各チーム審判員（有資格者）

9 競技規則 日本サッカー協会競技規則（最新版）及び中体連サッカー競技規則部内規定による。

## 10 大会規則

### （1）競技方法

#### ① 対戦方式

- ・ 1日目は出場10チームが3ブロック（a～c）に分かれて「予選リーグ」を行い、決勝トーナメントに進出する上位8チームを決定する。
- ・ 3チームのブロック（aとb）は「総当たり戦」を行い、代表2チームを決定する。
- ・ 4チームのブロック（c）は「リンク方式」でそれぞれ代表2チームを決定する。
- ・ 各ブロック代表6チーム以外のチームより、得失点差（総得点－総失点）により2チームを選出する。同点のチームが複数の場合は総得点で決定する。それでも決しない場合はPK方式で決定する。なお、3チームが並んだ場合はPK方式によるともえ戦、4チームが並んだ場合はPK方式による総当たり戦をそれぞれ1回行い、代表チームを決定する。それでも決しない場合は抽選（PKのスコアは無関係）により決定する。なお、PK戦については第5試合終了後、ただちに実施する。（※選手・監督は帰らずに待機させてください。）
- ・ 2日目は予選リーグ上位8チームが2つのブロック（AとB）に分かれ、それぞれ「決勝トーナメント戦」を行う。各ブロックの優勝チームが県大会出場権を獲得する。3位決定戦は行わない。
- ・ 春季大会の上位4チームがシード校（第1シードがAブロックに、第2シードがBブロックに、第3シード、第4シードがCブロックに入る）となる。

#### ② 試合時間

- ・ 全ての試合を50分間（25分ハーフ、インターバル5分）で行う。
- ・ 予選リーグにおいて勝敗が決しない場合は、引き分けとする。
- ・ 決勝トーナメントにおいて勝敗が決しない場合は、10分間（5分ハーフ）の延長戦を行う。
- ・ それでも決しない場合は、PK戦を行う。
- ・ 決勝戦において勝敗が決しない場合は、10分間（5分ハーフ）の延長戦を行う。
- ・ それでも決しない場合は、再度10分間（5分ハーフ）の延長戦を行う。
- ・ それでも決しない場合は、PK方式で優勝を決定する。
- ・ 決勝トーナメントにおいて延長等で試合時間が延びた場合、その試合が終了してから30分後に次の時間に行う予定のすべての試合を実施することとする。

#### ③ 予選ブロック代表の決め方

- ・ 「勝ち点（勝ち＝3，引き分け＝1，負け＝0）」によって決める。
- ・ 勝ち点と同じ場合は「直接対決の結果」で決める。
- ・ 直接対決が引き分けだった場合は「得失点差（総得点－総失点）」で決める。
- ・ それでも決しない場合は「総得点」で決める。

- ・ それでも決しない場合は「PK方式」で決める。
  - ・ 3・4チームが同率になった場合は、それぞれ「PK方式」による「ともえ戦」・「総当たり戦」を1回行う。
  - ・ それでも決しない場合は「抽選」（PKのスコアは無関係）とする。
- ④ メンバー用紙
- ・ 各チームは競技開始20分前までに本部に「メンバー用紙」を提出すること。
- ⑤ 選手交替
- ・ メンバー用紙に登録された選手7名の再交替を認める。
  - ・ 試合前にユニフォームのチェックを受けた交代要員は、交代する旨を本部に申し出ること。
- ⑥ 退場・警告
- ・ 本大会において「退場」を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。
  - ・ 本大会において2度「警告」を受けた選手は、次の1試合に出場できない。
  - ・ 決勝戦において「退場」を命じられた選手は、今大会以降、公式戦の初戦に出場できない。
  - ・ 退場については、専門部規律委員会でその後の対応を検討する。
  - ・ 所属チームの最終試合において、その大会中「2度目の警告を受けた選手」と「退場を命じられた選手」は、次の大会の所属チームの初戦1試合に出場できない。
- ⑦ 競技中の給水
- ・ 水のみとする。ボトルの設置箇所は、副審の邪魔にならないタッチライン及びゴールライン沿い（ラインから1m程度離す）とする。
- ⑧ 飲水タイム
- ・ 大会本部が必要と認めた場合には「飲水タイム」を設ける。
- ⑨ 使用球・服装など
- ・ 日本サッカー協会検定5号ボールを使用する。（各チーム持ちより）
  - ・ ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング：以後ユニフォームという）は原則として、日本サッカー協会ユニフォーム規定に従うものとする。
  - ・ ユニフォーム（シャツ）にはチーム名を入れる。
  - ・ ユニフォームは、登録選手全員分のシャツ、ショーツ、ストッキングのそれぞれが、メーカーやマーク等の規格が統一されたものとする。
  - ・ ユニフォームの番号は選手登録書に記載された選手固有の番号（1～99番）とする。
  - ・ ユニフォームは、正の他に副として正と異なる色のユニフォームを必ず用意すること。
  - ・ ゴールキーパーは、他のプレーヤーと色別すること。
  - ・ 金属類、眼鏡（安全なスポーツグラスは除く）、ギブス、装身具（ミサンガ、ネックレス、）

等を身に付けての出場は認めない。

- 中学生らしくない髪型（染色，剃り，パーマ，異常なかりあげ等）の選手の出場は認めない。
- 縞模様のユニフォームの番号は台布の上につけること。
- アンダーシャツとインナースパッツ（サーマルショーツ）は，それぞれシャツやショーツと同色のものとする。

※ シャツの裾をパンツから出すことはルール違反ではなくなったが，教育的観点から，ユニフォームをきちんと着るように各チームで指導すること。

※ ソックスに巻くテーピングは，ソックスと同色のものとする。

※ 審判との区別を明確にするため，黒や紺のユニフォームは使用しないこと。

※ 各チームのユニフォーム（4着）は，類似色とならないように留意すること。

## （2）登録人員

- 監督（学校長・教職員）1名，コーチ（外部コーチ・教職員）1名，役員（教職員）1名，選手18名の，計21名以内とする。ただし，東日本大震災の被災により，転入した3年生が在籍するチームについてはその限りではない。
- チームは原則として単独校でのチーム編成とするが，宮城県中学校体育連盟「複数校合同チーム参加規程」により，合同チームでのチーム編成を認める。
- 登録人員の変更は，各チームの大会初戦の開始20分前までに行い，それ以降については認めない。第1試合の「メンバー提出用紙」に記載されたもので最終登録人員とする。

## （3）表彰

- 優勝以下第2位までのチーム・選手に賞状を授与する。
- 優勝チームには優勝杯（次年度まで保持）を授与する。

## （4）県大会出場枠 2チーム

- 県大会の詳細については，後日，宮城県中体連 HP に掲載予定。

## （6）その他の申し合わせ事項

- 春季大会の上位4チームにはシード権を与える。（シード権は放棄できない。）

＜確認＞	第1シード：河南東中（1位）	第2シード：矢本第一中（2位）
	第3シード：蛇田中（3位）	第4シード：矢本第二中（4位）

- サッカー競技規則第3条より，選手は7名以上で参加申し込みを行うこと。

サッカー競技規則 第3条 競技者の数

「試合は，11人以下の競技者からなる2つのチームによって行われる。各チームの競技者のうちの1人はゴールキーパーである。いずれかのチームが7人未満の場合，試合は開始されない。」

- 春季大会以降の公式戦における最終試合で退場を命じられた選手と2度目の警告を受けた選手は、本大会の初戦に出場することができない。

<確認> 春季大会以降の累積警告選手 → なし

- 大会初日は、ピッチ内アップを禁止する。ただし、キーパーについてはその限りではない。
- ※ ピッチ外でのアップの際には、スパイクは履かずに行わせる。
- 2日目は、試合開始30分前から15分前までのピッチ内アップを認める。
- ベンチは、本部からフィールドに向かって左側を番号の若いチームのものとする。
- ベンチには「登録人員」以外は入ることができない。
- 選手宣誓は第1シードになったチームの選手（※河南東中）が行う。
- 前年度優勝チーム（Aブロック門脇中、Bブロック：矢本一中）は開会式にて優勝杯を返還すること。
- 1日目は7:30から、2日目は8:00から大会本部にて顧問会を行う。
- 会場準備は第2試合に当たっているチームが行い（1日目7:00、2日目7:30）、後片付けは最終試合に当たっているチームが行う。
- 顧問はチームの勝敗にかかわらず、学校事情が許す限り2日間ともに大会の運営に当たる。
- 競技中のホイッスル及び拡声器での応援は認めない。
- ふれあいコートでの応援について、登録人員以外の生徒（応援団も含む）の応援は、ベンチの反対側のサイドの芝生にかからない場所で行うこととする。なお、審判団から応援場所等について指示が出た際は役員が中心となり早急に対応する。
- 審判へのクレーム、ベンチからの戦術的な指示は行わない。各チームで事前の連絡を徹底しておくこと。
- 選手以外はみだりに競技場に入らないこと。
- ゴミは必ず持ち帰ること。
- サッカー競技プログラムの販売は基本的な大会本部で行う。
- 本大会中、いずれの場合においても、規定人数（サッカー競技規則 第3条 競技者の数）に満たない場合、試合は行われず、予選リーグにおいては相手チームへ無条件に3点が付与される。なお、試合開始後に規定人数（サッカー競技規則 第3条 競技者の数）に満たなくなった場合、そこまでのスコアとは関係なく、相手チームに3点の得点が付与され、自チームは0点となる。また、以降の試合においても上記の場合、同様の扱いとなり、予選ブロック代表権については以降のチームへ繰上げされ、2日目、3日目を以降へは進出できない。